

日本クリスチャン・アシュラム連盟

Founded by Eli Stanley Jones

秋季号



# 日本アシュラム

AUTUMN

1988

United Christian Ashrams of Japan

64

開 心・静 聴・充 満・献 身・奉 仕

▼連盟は創始者の招きにより、各地に生かされた。全国的な文脈  
りであって、常に新しい地区(単位)の参加を期待している。



## 現代教会の再改革

— 初代教会に帰れ —

海 老 沢 宣 道

過日二、三名の同志が集まった席上で話合った事の一つに、隣りの韓国では軍部政治下にも拘らず、伝道が盛んに行われ、信者数は人口の25%に達し、各地に何千何万という会員を持つ教会が活潑な集会をしていること、中国では共産政治下で、今日十五の神学校と五千の教会と八千万の信徒が生きており、更に農村各地に三万とも三〇万とも言われている「家の教会」が、定期礼拝を守っていること、インドネシアの諸島にはリバイバルが起って、指導者が不足し、牧師や宣教師は各地から引張り嵐であるとのこと、それに引かえ、日本の教会は信仰的にも伝道的にも低調で信徒の人口比一%足らず、その原因はどこにあるのか、祈って上よりの啓示を受けよう、ということになった。私は帰宅して、父亮の著「現代教会改造論」を思い出し、大正時代に書かれたものだが再読してある示唆を与えられた。大先輩の宮川経輝が序文を寄せて『大戦の経験に目覚め、各方面のクリスト者の間

に、人類が互に殺し合う事なき無戦の世界を求め努力がなされているが、教会は、社会から存立の理由を疑われている。ある雑誌はそのために次のような試問をしたという。  
(一) あなたは説教で霊的・知的ニードを満されているか。(二) 礼拝は人類のニードに答えているか。  
(三) 教会は社会に何らかの感化を及ぼしているか。(四) あなたは子供の指導に成功しているか。つまり教会内に新しい改革が望まれている。教会の外には宗教に期待する声が高んじ、その日の用で事足りずとし、生命の躍動がない。いかにしてこの危機を切りぬけるか、大いに研究を要する」と述べている。続いて著者も緒論に、『世界の改造を促してきた教会が、内的革新を企てないなら、教会は生命なき形骸として捨てられる。永遠者は不変であるとしても、宗教の生命は不断に進化し、少くとも表現様式や神学、組織制度、活動方式などは常に改善されねばならな

い。人類救済の大使命を有する教会が旧習を繰返して小さく固形化してはならない。』と語り、『改造の二方針として、主イエスの中心教説たる神の国を目標として社会的に実践すること、予言者たちや初代教会の生活に学び、宗教々育に力を入れるべきである。』と論じている。  
そこで私は、日本新教会の不振は、ルターの宗教改革を正しく継承していない所に起因すると思う。主の十字架愛に対する魂の信頼(信仰のみ)、恵みによってのみ救われる(福音のみ)、また善行功徳、戒律や勤行によらないで、唯神の言によること(聖書のみ)を忘れて、中世教会の如く、聖職や教会に聖書以上の権威を認めようとし、洗礼と聖餐の外に結婚や葬儀など五つの秘蹟をも儀式礼典に加え、信徒の生活を支配しようとし、従って教会は心の慰めと励ましと喜びを味わう所ではなく、教会生活の規定の中に閉じこめられる味気ないものとなってしまった。万人祭司説は無視され、予言者の使命を忘れた牧師と役員の一部が祭司職を僭用して、教会の主なるイエスの主権を犯し、世俗的な思想で運営し改悪してしまつた結果が現状ではないだろうか。  
そこで現代教会の改革はルターの宗教改革に帰るだけでなく、更に聖書の初代教会に帰り『聖霊における喜び』をリバイブされたものである。

編集人 淵江 淳一  
発行人 大石 嗣郎  
定価 一部 60円 760円

# アジア南北のキリスト教

日本クリスチャン・アシュラム連盟総務理事

大石 嗣 郎

因みに現在アジア地区の人口の二拾八億に対し、キリスト者が一億人(新・旧・正)の劣勢に比べ、欧米地区の人口の拾四億に対し、八億人の優勢の数字は今後二十一世紀に入っても変ることがないと思います。今年になって二つの国々(韓国とインドネシア)を親しく訪ね、現地において主にある交わりを通じて自分の不勉強を知らされた。

五月十七日(二十一日、韓国ソウルで開催された第七回国際アシュラムに参加する機会が与えられ、現地のキリスト教の実態を深く知ることが出来た。現在韓国の総人口は四、五〇〇万人に対し、キリスト者が急速に伸び、約一、〇〇〇万人であり、今後十年間に二、五〇〇万人に達するとのことである。これは韓国人口の二十二パーセントに対し、将来五十パーセント以上になることは驚異的数字であるが、その大きな要因はそれだけ教会数と宣教活動がなされていることになる。しかし色々信仰上の諸問題があるものの、この傾向は韓国社会に定着しつつある。

六月二十二日(二十九日には、インドネシアのスラウエン島(旧セレ

ベス)北部ミナハサ地区で第十三回太平洋エキキメニカル宣教会議に出席し、特に現地GMIIM(オランダ改革派系の教団)の教職信徒と親しく主にある交わりを持つことをゆるされた。インドネシア全人口の九十パーセントはイスラム教とヒンズー教なのに対し、キリスト者は八パーセントとされている。しかしこの島一島だけでは全島人口の九十パーセントの百二十万人がキリスト教徒であることを知らされて驚いたのです。その一大勢力であるGMIIM教団が宣教活動以外に直接病院及び学校を経営し、しかも乏しい資金の中で中央政府の援助にそれ程依頼することなくやってのけていることです。また出席した日曜礼拝の中で公衆衛生教育の時間を持っていることです。更にミナハサ地区のトモホン町の高い丘の上にGMIIM教団立の神学校が運営されていることです。神学校在校生は一、〇〇〇名(内二〇〇名は島外)で、各教育科目の教授たちが揃っていることです。半日神学校を訪ねて教授団との懇談を持つことが出来ました。この神学校卒業生は島

内各教会に赴任することになったいるが、神学生の中の女性と比較的多いのはこの国の女性優位を物語るものと思います。この島は戦時中は日本海軍の軍政が施され、日本キリスト教団の派遣牧師のよろしきを得て日本人に対する対日感情は表面的にはよく、私たちは各地において大歓迎を受け、昔懐かしい日本語の歌を歌ってくれたことが屢々でした。

以上の如く二国の旅を通して、日本の教会がもっと信仰の目を従来の東西ばかりに向けるのではなく、キリスト教先進国から学ぶことも必要でありましょうが、日本の教会のこれからの課題は信仰の物心両面をアジア南北キリスト教に向けるにあると思います。すでに先進国のキリスト者同僚が現地においてよき働きがなされているが、日本人は皆無に等しいことが旅の印象として感じ、声を大にして訴えたい気持ちです。

『イエスは主である』

マ書十章九節

アシュラムの五大原則  
(一) キリストへの明渡し

好評・再版出来  
「アシュラムの原則と実際」  
海老沢宣道著

**最新刊好評**

スタンレー・ジョーンズ博士の処女作  
忽ち世界各国でベストセラーになった

**インド途上のキリスト**

金井為一郎元訳 洲江淳一新訳  
美装幀 B6判 250頁 価1900円 予250円

若干23才で英国統治下のインドに単身赴任。60年余の生涯を献身し、現代のパウロと称された博士が、主イエスから啓示された奥義は何であったか。

**新刊好評**

サトタル・アシュラム指導者  
D・P・タイタス著  
植村 俊雄 訳

**「御国を来らせ給え」**

神の国に就ての研究

A6判40頁定価二百円 予70円  
スタンレーの後継者インドの  
タイタス師の名著

### 九州アシュラム報告

山本繁夫

第二三回九州アシュラムが主の祝福のうちに終わった。今回は初めて加わった方々が全体の四分の一もいた。プログラムは予定のように進められ、開会礼拝から「あなたがたの心の目を明らかにして下さるよう」(エペソ一、一八)願う、との語りかけではじめられた。

「開心の時」に進み、助言者から、「あなたがたの求めるところを、神に申し上げるがよい」(ピリピ四・六)から語り出され、「何のためにアシュラムに来られましたか」との問いが出され、一人一人からその問いに答えるのであった。

○「これから先の生活のために神の御旨を知らせてもらいたい」  
 ○「これから、教会の現状をどうするかに迷っている」  
 ○「牧師として人々に教えているが自分自身が直接御言葉を聞きたい」

○「初めて参加したが恵まれたい」  
 等々、全員口を開き、心を開いた。ピリピ二、一一一から「イエスは主である」より、イエスの弟子トマスの告白「わが主よ、わが神よ」を

はじめ、歴史の中において種々な信仰告白がなされたが、聖書は「イエスは主なり」と強調し、われらもこの方を信じている。この方の「ふところ」に飛び込もうではないか。  
 更にファミリーに分かれ第一ファミリーを「一粒の麦」、第二ファミリーを「しらはぎ」、第三ファミリーを「小さい星」と命名した。

各自のファミリーが決められ、互に自己紹介からはじまり、「静聴の時」に受けた恵みを分かち合い、互いの問題を出し合って折り合う「折りの細胞」の時をもった。互いの交わりを深め、具体的に折り合うのであった。

夜は連鎖祈禱である。(夕九時〜翌日六時まで)各自一時間宛の祈りであり、恵みの時であった。

「充滿の時」各ファミリーの家長をはじめ、今回のアシュラムで恵まれた数々の証しがなされての、いやが上にも靈潮が高まる時であった。今回のアシュラムの特色は、どこの会合にも、西洋史からの神学、証し人の引例が多いのに比して、東洋史ことにキリストの福音が、古代に於て、如何に東洋に來たのか、仏教や神道にその感化が及んだのか等。余り聞かれなかつた面からの学びがなされ、日本において「イエスは主なり」と証しする我らに、一層の確信を得させるアシュラムであったことを感謝した。

### 四国アシュラム報告

河野修

第19回四国アシュラムは九月22日23日松山済美会館において「祈りの生活」を主題に、助言者として在日大韓・西成教会金元治師をお迎えして開催された。参加者は23才から91才までの20名。終始祝福豊かな集会であった。

第一日は午後二時より開会礼拝(日キ 松山山越・河野修師御用)、開心の時、福音の時を持ち、夕食の時(司会 日キ 松山番町・宇都宮美江師)には聖句吟誦もあり楽しい交わりの時を持った。夜は静聴の時(愛媛聖園基督・戸田義雄師御用)の後、二つの分団に分れ、日本イエス 高松新生・唐渡陸子師と宇和島寄松集會・山崎恵子師の司会によって祈りの細胞の時を持った。第二日は静聴の時(松山キリスト福音・中川昭師御用)、朝食、(食後、車で新しい会館に移動)、福音の時、祈りの細胞、昼食、その後充滿・献身の時を持って午後二時閉会した。  
 金師は「祈りとは祈ることである」と理屈より先ず祈ることが大切であると語り、若き日に松山で回心、自分のため、同胞のため祈る者とされ

(一) 行きの祈り、帰りの祈り  
 (二) 祈りの生活  
 (三) 聖靈の啓導と充滿  
 (四) 神の国の体験と献身  
 (五) 教会への奉仕と伝道

新書判52頁 価三百円千70円  
 スタンレー博士に親しく指導を受けた著者がアシュラムの五大原則と守り方を平易に解説。

**「大乘仏教とキリスト教」**  
 渕江淳一 著  
 日本アシュラム事務局扱い  
 定価 1,500円(千共)  
 東京宗教研究所発行  
 大乘仏教をも大きく包摂することのできる  
 キリストの福音を語らんとしている著者の  
 脈々たる気魄をこの論説から感得していただ  
 きたい。(小池辰雄師の序文より)

たこと、その後幾度かの危機的状況の中でも、祈り続けることよって勝利し今日があることを証しされた。又、自分の罪を深く知ること、罪と闘うことの大切なことも語られた。二日間交互に、一同は主の御前で、祈りについて、祈りの生活について再検討することが出来、多くの示唆と励ましを与えられ、感謝のうちに散会した。

国際アシュラム報告

スタンレーの著作

(英語版)

十五冊特価提供

去る二月米国アラバマ州モンゴメリのハンチントン大学で開催された国際アシュラム連盟理事会の報告によれば、同連盟はアビンドン社からスタンレー・ジョーンズ博士の著作十五種を大量に仕入れたので、全世界のアシュラム同志にこれを特価で提供することにしました。アシュラム運動はスタンレーの著作を頒布し、一人でも多くの人に読んで貰うことからは始まるからである。彼の著作によつてのみ真のアシュラムの精神、牧会、運動の何たるかを知ることができ

第八回国際アシュラムは

一九九〇年カナダで開催

二年後の一九九〇年は、スタンレーがインドのヒマラヤ山麓サトタルでクリスチャンのアシュラムを僅か三名から始めた一九三〇年から六〇年になり、一九四〇年から始まった米国の五〇年記念の年である。

その記念事業の一つとして、第八回国際アシュラムをカナダで開くことと、スタンレーの自署の入った著書を各冊二ドルで販売することである。

◆ 信友通信 ◆

○千葉佐原市 井上登美

イエスは主なり。この度は関東アシュラムで大変お世話様になりました。御多忙の皆さま方のお祈りのうちに、このような尊い集いが継承されていくことを知り、今回突如としてお恥かしい者も加えて頂けましたこと、只々主に感謝あるのみでございます。これまで先生のお顔を存じ上げていなかったような不精者でしたが、これを期に恵みを求めて立上りたいと思ひますので宜しくお願い致します。先生御編集の『アパ・ルーム』も今後一層、丁寧に読み取らせていただきます。御健康にくれぐれも御留意を、一筆御礼まで。

○東京練馬区 加藤 董子

山荘の方へ『日本アシュラム』の夏季号を送って頂き有難うございました。『御言への静聴』をゆっくり拝読させて頂きました。毎日の生活を反省しつつ、キリストに従って生活して参りたく存じました。国際アシュラムが韓国で開かれた由、あちらの教会はとても盛んなことを前から聞いては居りましたが、石神勇様の記事により良く判りました。山荘では毎朝カッコーとウグイスの声を聞いて居ります。皆様御身御大切に。 ○清瀬市 渡部 あぐり 御名を讃美いたします。先日は日本アシュラム誌を有難うございませ

た。先生の文章を心して拝読させて頂きました。先日は傘寿のお誕生日お目出度うございました。最近の先生は益々お顔の色もよく昔よりお若くなられたようにお見受けします。私たちも心強く思いますので何時までもお導き下さるようお願い申し上げます。この度は体に自信がまだないので失礼しましたが、米寿のお祝いには出席させて頂きます。何卒お大切に。

◆ 消息 ◆

○細川静師は

八丈島中之郷二二九九七の中之郷教会に転任になりました。 ○高瀬恒徳師(前理事長)の召天十周年記念式が十月十七日(日)午後二時、文京区弥生の聖テモテ教会にて守られた。

◆ 追悼 ◆

赤石 義昭師(百才) 春日井教会名誉牧師 金城学園名誉理事長 アシュラムにも度々御協力下さった 去る七月五日御逝去、謹んで在天の霊の平安を祈る。

◆ 会計報告 ◆

城北アシュラム	二〇、〇〇〇円
深谷教会	一〇、〇〇〇円
大石副郎	一〇、〇〇〇円
海老沢宣道	一〇、〇〇〇円
九州アシュラム	二〇、〇〇〇円
関西アシュラム	五〇、〇〇〇円
合計	一一五、〇〇〇円

(十月五日現在 大石)

スタンレー・ジョーンズ博士の遺著、  
**神の然り** B6判 220頁  
 定価1200円 送料250円  
 〈キリストに明け渡した人生〉  
 海老沢宣道 訳

日本を愛し、戦後十回の伝道を終え帰米後卒中に倒れた今世紀世界最大の宣教師が死に勝つ勝利の確信を説く万人必読の書。

アシュラム生活の最良の友  
アパ・ルーム

(年6回刊行の日々の糧)  
国際的、超教派的、霊的な読物  
価200円 70円、年1,620円

発行所(256)小田原市国府津3-11  
振替口座(東京)1-193834 アパ・ルーム

日本語版は創刊以来36年続行中

▼アシュラムとは故スタンレー・ジョーンズ博士がインドの退修方式を取り入れて創始されたキリ...

東京都目黒区中央町1-21-10  
碑文谷教会気付  
日本クリスチャン・アシュラム連盟